

< 参考資料 >

福島第一原子力発電所 3号機原子炉格納容器
(PCV) 内部調査の実施結果について
(速報：10月20日実施分)

2015年10月20日
東京電力株式会社

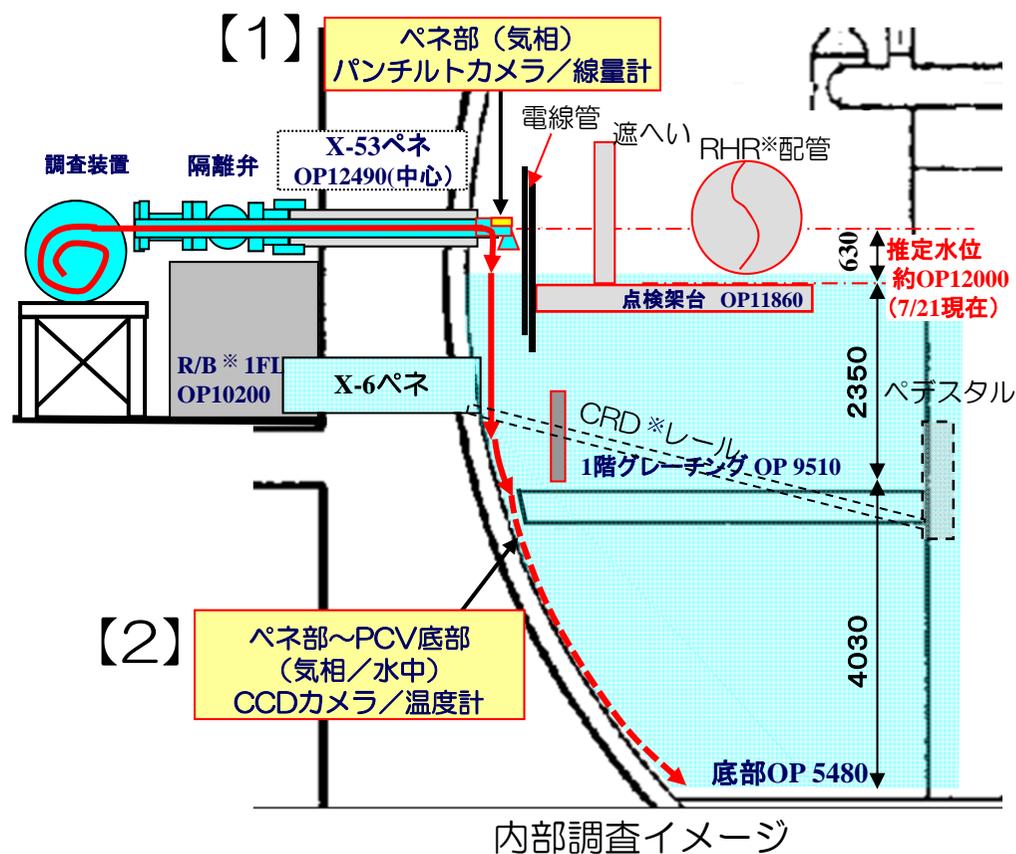


東京電力

1. PCV内部調査（映像・温度・線量）の実施概要

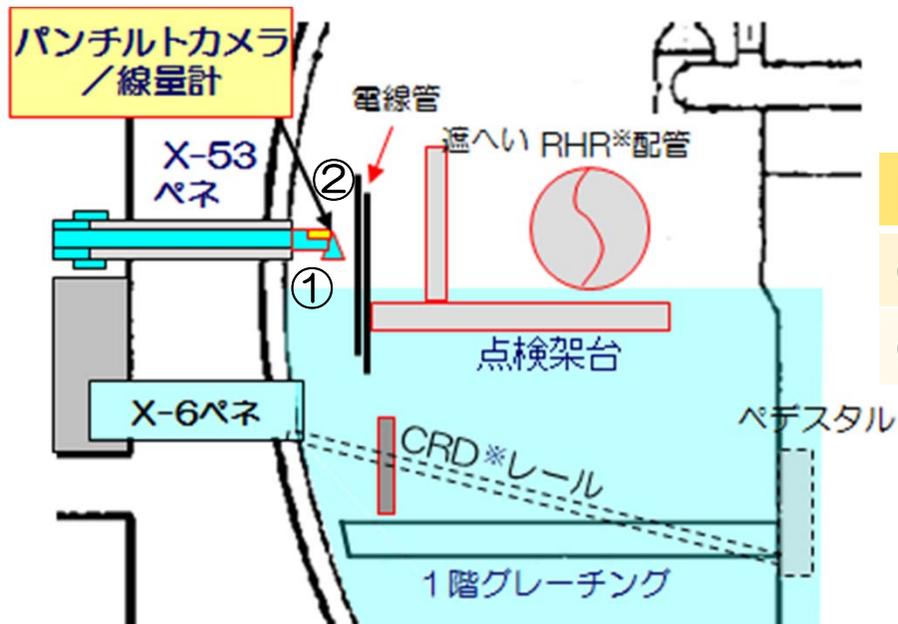
- PCV貫通部（X-53）より調査装置（カメラ、温度計、線量計）を挿入し、PCV内の冷却状態の確認を主体とした調査を行うと共に、今後の調査方法の検討に資する情報を取得する。

調査装置	調査範囲&内容
【1】 パンチルトカメラ +線量計	<u>ペネ部（気相）の範囲</u> ①PCV内部構造物の状況確認 ②気相部の線量測定 ③今後のペDESTAL内調査時のアクセスルート・干渉物を確認 ・X-53ペネ出口近傍
【2】 CCDカメラ +温度計	<u>ペネ部～PCV底部（気相～水中）の範囲</u> ④PCV内水面位置の確認 ⑤PCV内の温度分布の確認 ⑥PCV壁面の状況確認 ⑦PCV底部の堆積物の状況確認



2. 【1】パンチルトカメラ+線量計 調査結果

- PCV内の構造物（RHR配管、D/Wスプレイスパージャ、PCV内照明、電線管など）・PCV壁面に、確認した範囲では損傷は確認されなかった。
- PCV内気相部の線量は、最大で約1Sv/hであることを確認した。



No.	測定場所	線量測定値
①	PCV壁面近傍	約1 Sv/h
②	ペネ出口から550mm	約0.75 Sv/h

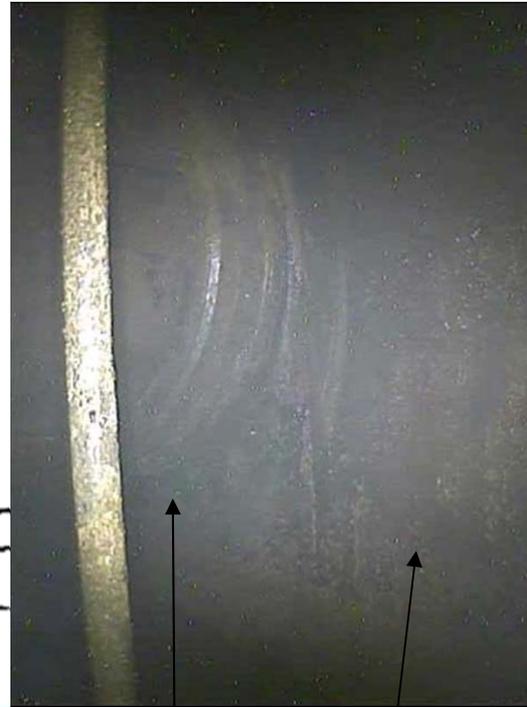
3. 【1】パンチルトカメラ+線量計 調査結果

上部方向の映像

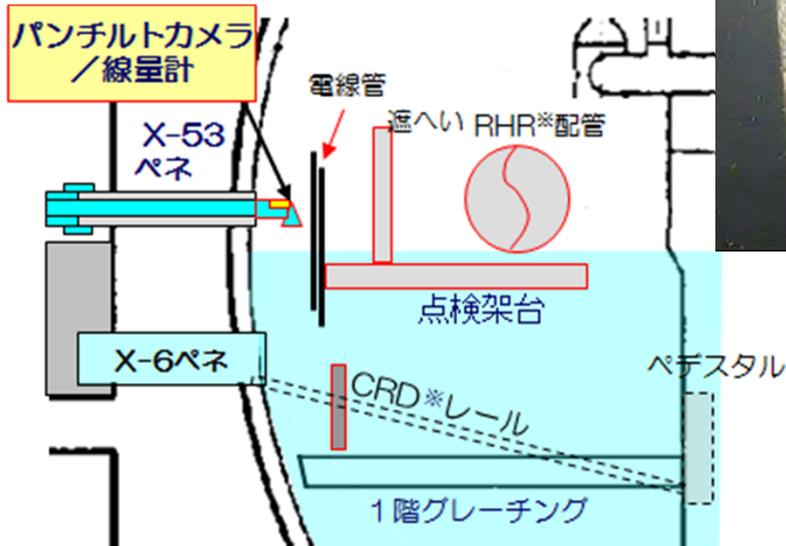
D/Wスプレイスパーチャ



RHR配管と壁面



PCV内照明



RHR配管

PCV壁面

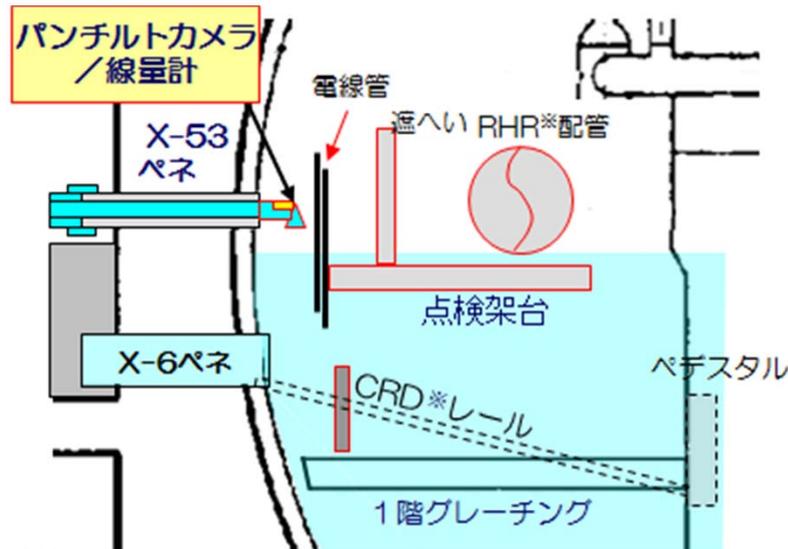
4. 【1】パンチルトカメラ+線量計 調査結果

正面・下部方向の映像

点検架台下部
(水面あり)



RHR配管

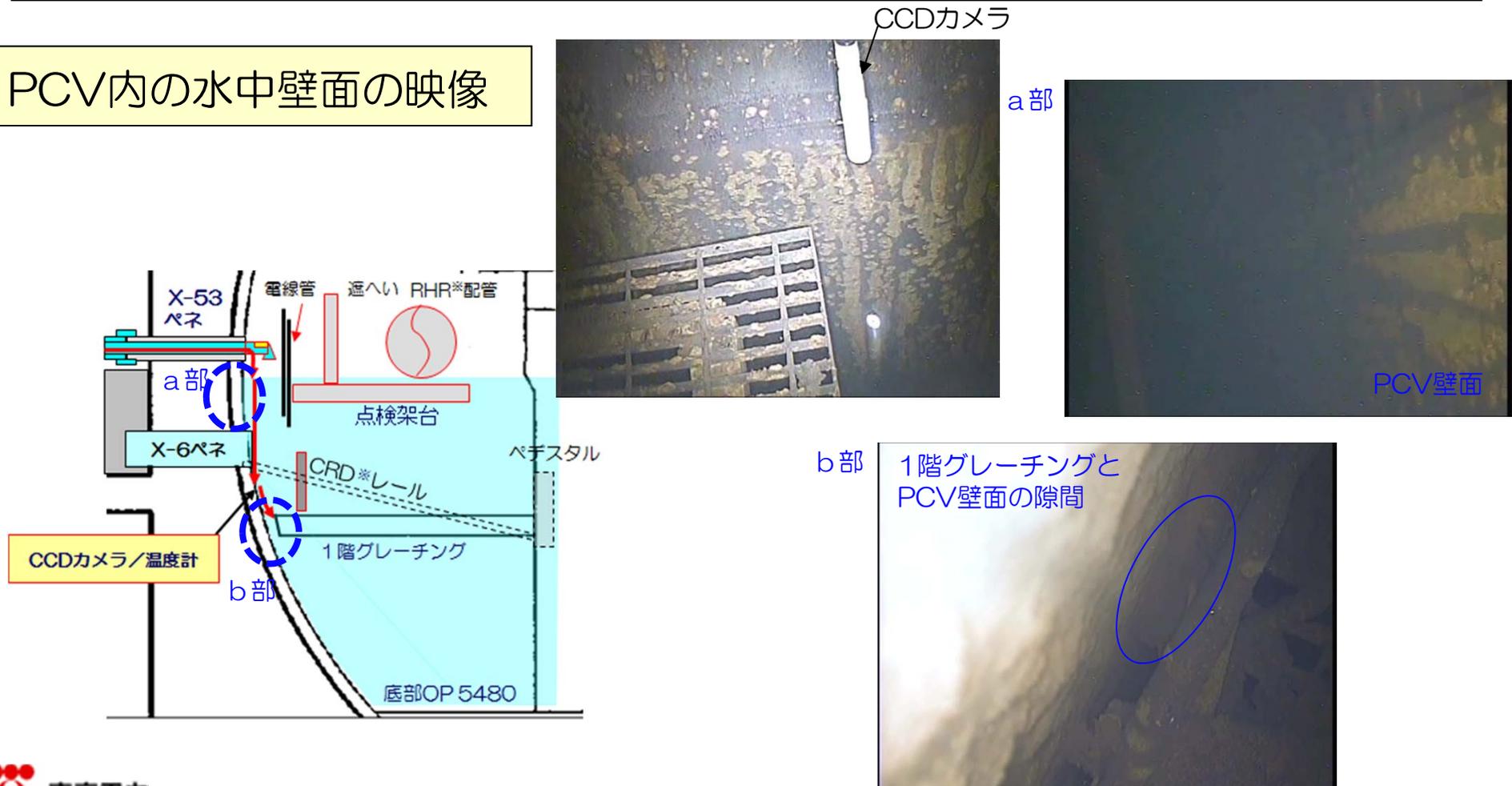


遮へいのサポート

5. 【2】 CCDカメラ+温度計 調査結果

- 1階グレーチングとPCV壁面の間が狭く堆積物があり、X-53ペネから1階グレーチングまでの調査を実施。
- PCV壁面に、確認した範囲では損傷は確認されなかった。

PCV内の水中壁面の映像

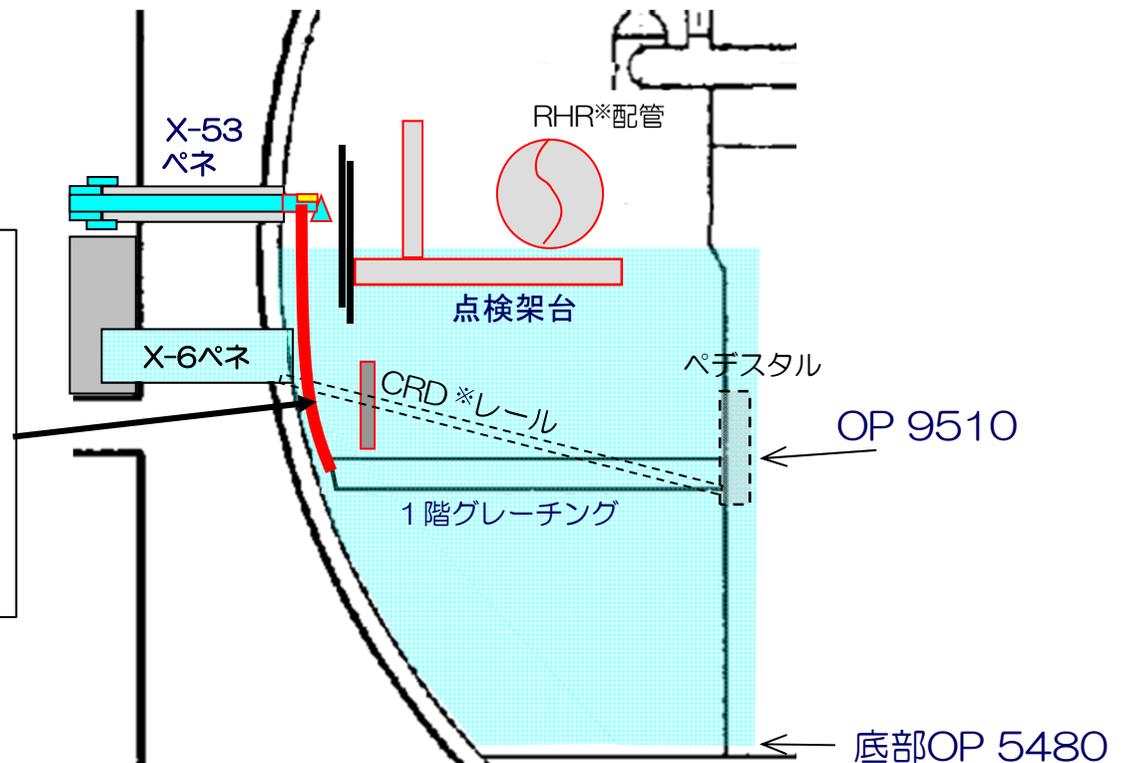


6. 【2】 CCDカメラ+温度計 調査結果

- PCV内の水位は、点検架台上面付近にPCV内の水面を確認（評価中）できており、推定値※と概ね一致していた。（※OP：約12000）
- PCV内部の温度は、気相部で約26～27℃、水中で約33～35℃であった。

温度測定箇所
ペネ出口～1階グレーチング※まで
約500mm間隔で7箇所測定

※PCV底部にカメラを投入できなかったことから、可能な範囲で測定



7. まとめ

- PCV内の構造物・壁面に、確認した範囲では損傷は確認されなかった。
- PCV内の水位は、点検架台上面付近にPCV内の水面を確認できており、推定値（OP：約12000）と概ね一致していた。
- PCV内気相部の線量は、最大で約1Sv/hであった。
- PCV内部の温度は、気相部で約26～27℃、水中で約33～35℃であった。

8. 3号機PCV内部調査計画工程

調査内容	10月						
	20	21	22	23	24	25	26
	火	水	木	金	土	日	月
【1】パンチルトカメラ+線量計 【2】CCDカメラ+温度計	■						
(サンプリング装置搬入)	■	■					
【3】滞留水サンプリング +パンチルトカメラ	■		■	■			■
				(予備日)			(予備日)

○作業予定時間
・AM3:00~AM8:00